



# Journal

**第24号**  
2026(R8)年10月28日  
山形県立寒河江高等学校  
新聞部

## 国民スポーツ大会 女子シングル200m

# 佐藤和佳 悲願の 真夏の雪辱 晴らす

# 優勝

## 激闘を制し



ゴールへと突き進む佐藤和佳選手(3-1)

10月11日から10月18日においてカヌー部とテニス部が全国国民スポーツ大会に出場し、カヌー部では女子カヤックシングル200mで優勝した。他にも村山地区大会や県総合文化祭も開かれ、書道部が全国大会出場を果たすなど、活躍を見せた。

### カヌー

第80回国民スポーツ大会カヌーシングルト競技  
日時:10月15〜18日  
於:青森県西目屋村  
津軽白神湖特設カヌー競技場

男子カヤックフォア 500m  
第4位 中村拓郎(2-3)  
男子カヤックフォア 200m  
第4位 中村拓郎  
※谷地・左沢と合同チーム

女子カヤックシングル 500m  
第2位 佐藤和佳(3-1)  
女子カヤックシングル 200m  
第1位 佐藤和佳  
女子カヤック200m  
第4位 横尾幸乃(3-2)  
女子カヤックペア200m  
第3位 横尾幸乃  
※谷地と合同チーム

東北高等学校新人カヌースプリント選手権大会  
日時:9月18〜20日  
於:月山湖カヌースプリント競技場

### 男子カヤックシングル 500m

第2位 中村拓郎(2-3)  
第6位 荒木琉志(1-5)  
男子カヤックペア 500m  
第1位 中村拓郎・荒木琉志  
男子カヤックフォア 500m  
第3位 中村拓郎・荒木琉志  
大久保温真(1-3)  
吉田圭佑(1-5)

### テニス

【女子】  
第80回国民スポーツ大会テニス競技  
日時:10月11日(日)

於:新青森県総合運動公園テニスコート  
1回戦  
×山形県0-2三重県  
※阿部ひまりが第一シングルスで出場

【選手寸評】  
今大会は優勝した県との対戦となり、トップ選手と対戦できたことはとても良い経験になったが、実力の差を感じたので次の大会に向けて練習を頑張っていきたい。

山形県高等学校新人体育大会テニス競技  
日時:10月3-4日  
於:酒田市光ヶ丘テニスコート  
国体記念テニスコート

団体  
第3位  
個人  
シングルス  
第1位 阿部ひまり(1-3)  
全国選抜大会出場  
ベスト8 佐竹真佳(2-1)

【顧問寸評】  
緊張している場面でも自分の力が発揮できた。優勝が決まった時に松田先生がとても喜んでくれたのは本当にうれしかった。インターハイでの敗戦も私を強くしてくれました。負けた時は立ち直れなかった、頭は真つ白でした。後はお母さんとコーチに優勝を届けられながら、なにより私が頑張ってきたことが認められました。自分自身の気持ちと練習の仕方を指導してくれて、コーチ、ライバルに勝つことが見えたと言ってくれた先生のためにやろうと決めました。インターハイの結果はもうやり直せないけれど大きな負けで大きな成長できました。また、力

るようになりたい。普通の練習でも頑張りたい。

【選手寸評】  
今回の大会では、男子にも確実な成長が見られた。団体戦では勝利に届かなかったものの、部員一人ひとりが試合を振り返り、自分の課題を言葉に出来ていた。一方で練習面での課題も見つかったため、今後は全員で改善していきたい。

【顧問寸評】  
スーが理由で沢山の先生方に配慮していただきました。やっとな優勝という結果を持ち帰ることができたことで少しでも恩を返せていると思います。そして、カヌー部の同級生たちには本当に迷惑を掛けました。それでも私を応援してくれて一緒に戦ってくれました。本当にありがとうございました。カヌーが無ければ私の高校生活は語れません。そのカヌー生活を彩ってくれたのは周りの方々のおかげです。喜びも悔しさも全て一つのことを極めることで得ることができた財産です。本当にありがとうございました。

地区新人大会

バドミントン

男子

日時:9月12・13日

於:正商体育館

団体

×寒河江0・3山形東

個人

ダブルス

正木愛龍(2・4)

吉野悠斗(2・4)

2回戦惜敗

他3組

初戦惜敗

シングルス

伊藤駿(2・2)

3回戦惜敗

他4名

初戦惜敗

【顧問寸評】

シニアから経験してきた他校生とも戦えるまでにはなつたものの勝ち切るまでには至っていない。一冬かけてゼロから基礎固めを徹底する必要がある。

【選手寸評】

経験者となる程度のラリーはできるものの、

たが勝つまでは少し壁があるように感じた。しばらく大会はないので

自分の弱点と向き合う良い機会にしたいと思った。

【女子】

日時:9月12・13日

於:山形市総合スポーツセンター

団体

×寒河江2・3山形東

個人

ダブルス

松本七咲(2・2)

佐竹花帆(2・1)

渡邊くみ(2・3)

長岡愛結(2・2)

武田聖永(2・3)

海野葉月(1・1)

高橋侑愛(1・1)

塩澤美愛(1・5)

2回戦惜敗

シングルス

武田花帆(2・1)

渡邊くみ(2・3)

海野葉月(1・1)

1回戦惜敗

松本七咲(2・2)

佐竹花帆(2・1)

2回戦惜敗

【顧問寸評】

持てる力は発揮できたが、勝ちきれなかった。その原因を自分たちでしっかりと考え、今後の練習に活かしてほしい。

【選手寸評】

結果としては負けという形で大会は終わってしまったが、接戦となった試合を通して、自身の課題を再確認する良い機会になったと思う。課題の改善に動してみたい。

卓球

男子

日時:9月19・20日

於:山形県総合運動公園体育館

団体

×寒河江3・1山形中央

×寒河江0・3山形南

×寒河江3・1

○寒河江3・0山形明正

×寒河江1・3山形西

×寒河江0・3山形学院

個人

岩崎未侑(2・1)

砂田蒼空(2・3)

敗者復活

【顧問寸評】

少数ながら、地区3位と及第点の結果だったが、個人戦でトラブルがあったものの、気持ちを切り替えて団体戦に挑めたことは精神的な成長である。力はあるのだが、本番での自信のなさやブレに影響しているため、経験値を増やして県新人大会に挑みたい。

サッカー

第105回全国高校サッカー選手権大会

山形県大会

日時:10月3日(土)

於:米沢人工芝サッカーフィールド

×寒河江2・4

上山明新館

【顧問寸評】

合同チームということで練習機会の確保や連携面等で不安が残る中で臨んだものの大会であったが、出られる選手が今持てる力を十分に発揮できたと感じる。この経験を糧に来春へ向けて頑張らせていただきたい。

【選手寸評】

新人戦は明瞭とした実力の差を見せつけられた。選手権は高ベースで2点先取るも、徐々に相手ペースに飲まれていった形になった。大会で見つけた自分達の長所、短所を分析して次に繋いでいきたい。

書道

県総合文化祭

日時:10月9日(金)

於:酒田総合文化センター

高文連賞

氏家詩歌(2・3)

全国総合文芸出場

高文連賞

後藤希来里(2・2)

全国総文芸出場

書道部会長賞

石山来美(3・3)

優秀賞

加藤映楽(2・1)

【顧問寸評】

山形県の「全国大会出場枠」は4点と減る中、その狭き門に本校から2名が全国出場権を獲得することができました。書道部は常に、自分の目標を持って日頃に練習に取り組んでいくことが大切だ。

美術

日時:10月9・11日

於:鶴岡アクトフォーラム

大岡祐美加(2・4)

【顧問寸評】

初めての大会であるこの秋の大会では、チーム全員が1となり、最後まで戦い抜くことができた。新チームの課題はどれだけ隙をなくせるかが大きな課題だと思ふ。応援してくださった生徒や先生方、保護者の皆様、応援ありがとうございました。

茶華道

日時:10月10日(土)

於:羽遊心館

2年生3名参加

1年生2名参加

茶道部メンバー

日時:9月12日(土)

於:ケアセンターとこえ陵南

施設の高齢の方々にお茶を振舞った。

華道部メンバー

日時:10月2日(土)

於:ぼけとびーすの森

入所者の方と一緒に花を生けた。

【顧問寸評】

高総文祭では、茶道専門部に加盟する県内の生徒たちの、日ごろからの練習の成果を遺憾なく発揮していた。

新

第48回山形県高等学校新聞コンクール

日時:10月7日(水)

於:大手門パルク

最優秀賞

【顧問寸評】

今回は関係者に幅広く取材し地域の課題と将来を見つめた点が評価された。次の回のコンクール向け常問題意識をもって取材を続けてほしい。

運動部だけなんて言わせない！  
活躍の幅を広げる  
将棋部の実態

3年生が引退して部員が2人であったが、現在の将棋部は人数を増やし続け7人まで数を伸ばしている。そこで、将棋部部長木村碧さん(1・2)にインタビューを行った。

Q「今まで人数が増えたのはなぜですか。」  
A 副部長である鈴木

3年生が引退して部員が2人であったが、現在の将棋部は人数を増やし続け7人まで数を伸ばしている。そこで、将棋部部長木村碧さん(1・2)にインタビューを行った。

Q「将棋部に入っている一番、記憶に残っている出来事はありますか。」  
A 初心者でうまくい

Q「将棋部では現在も部員の募集を行っているが、少しでも興味を持っていただけたのなら、ぜひ見学に行ってみてはいかがだろうか。」

↑笑顔で取材を受ける木村碧さん(1・2)



↑笑顔で取材を受ける木村碧さん(1・2)

将棋部では現在も部員の募集を行っているが、少しでも興味を持っていただけたのなら、ぜひ見学に行ってみてはいかがだろうか。